



Domino's Media Release

2023年2月28日
株式会社ドミノ・ピザ ジャパン

ドミノ・ピザ、農水支援 6 団体に、総額 350 万円を授与 「産直ドミノ基金[®]アワード 2023」の受賞団体を決定 農林水産業で、地域の結びつきをつくる活動を応援！

株式会社ドミノ・ピザ ジャパン（代表取締役：ジョシュア・キリムニック、CEO：マーティン・スティーンクス、本社：東京都品川区、以下：ドミノ・ピザ）が展開する国内 No.1 シェアを誇る宅配ピザチェーン ドミノ・ピザは、2024年2月28日、「産直ドミノ基金[®]アワード 2023」の受賞団体を、農水支援 6 団体に決定しました。受賞団体は、NPO 法人どんぐりの会 就労継続支援 B 型事業所 リベルタ（三重県）、中村学園大学 唐津 Q サバ FAN クラブ（佐賀県）、公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所（大分県）、NPO 法人棚田 LOVERS（兵庫県）、やませみ（大分県）、青森県立名久井農業高等学校野菜研究班（青森県）です。「農福・林福・水福連携」、「若手従事者」、「スマート農業・林業・漁業」、「子どもと農業・林業・漁業」、「地域と農業・林業・漁業」の 5 つの重点テーマに、33 団体からのお申し込みをいただき、その中から各賞を選出しました。副賞として総額 350 万が授与されます。ドミノ・ピザは、今後も、「産直ドミノ基金[®]」を通じて、「ニッポンの生産者の今と未来を応援する。」ため、日本の農林水産業に関わる今と未来の課題にチャレンジする地域に根差した活動の未来を応援します。



「産直ドミノ基金[®]アワード 2023」へ全国 33 団体から応募を頂き、6 団体を決定

「農林水産業を通じて地域との結びつきをつくる」をテーマに、地域に根差した活動の未来を応援

「産直ドミノ基金[®]アワード 2023」では、日本の農林水産業に関わる今と未来の課題にチャレンジする地域に根差した活動の未来を応援する 5 つの重点テーマをもうけ各分野 1 団体、そして総合的に優れている活動を CEO 特別賞として 1 団体、表彰することとして、2023年11月14日（火）に応募を開始しました。5 つの重点テーマは、以下の通りです。

- ① 農福連携・林福連携・水福連携：障がい者や高齢者が農業・林業・漁業に携わることでそれぞれの分野が抱える課題を解決し、地域共生社会の実現につなげる取り組みを表彰します。
- ② 若手従事者：農業・林業・漁業に興味を持つ若者が増え、若者の就業が進むことで、一次産業就業者の高齢化や

従事人口の減少を食い止め、未来志向型一次産業が進む取り組みを表彰します。

- ③ スマート農業・林業・漁業：ロボット技術や ICT を活用して、高品質な農林水産物の生産を実現し、また改善、強化を進める取り組みを表彰します。
- ④ 子どもと農業・林業・漁業：普段は土にふれることがない生活をしている子どもが、作物を育てる、調理する、食べるなど、農・林・漁の体験を通じて食を学ぶ取り組みを表彰します。
- ⑤ 地域と農業・林業・漁業：地域の多様な人々と農業・林業・漁業をつなぐ活動で、地域の課題解決や活性化につながる取り組みを表彰します。

審査会の審査結果講評は以下のとおりです。

「助成からアワードに応援のスタイルを変更後、初めての募集となりましたが、全国各地から 33 団体もの応募をいただきました。多くのご応募をいただき、応募団体の皆さまにお礼を申し上げます。また、それぞれの応募団体の、意義あるご活動に、敬意を表します。

応募状況を概観すると、①農福連携・林福連携・水福連携、④子どもと農業・林業・漁業、⑤地域と農業・林業・漁業からの応募が多数ありました。

①の部については、農福連携の取り組みの中で、高齢者や障がい者、子どもが活動の企画や実施に主体的に関わっているものも見受けられました。選考委員会では、選考基準（農林水産業を通じた地域との結びつき、社会・地域課題の解決、持続性・発展性）に従って、議論が行われました。

CEO 特別賞については、地元の農作物と向き合い、生産に取り組んでいらっしゃる若い人を応援できることを応援したいという想いから、ドミノ・ピザの CEO から応援するのにふさわしい団体を選考しました。

また、本アワードで、日本の農林水産業に関わる今と未来の課題にチャレンジする地域に根差した素晴らしい取り組みやチャレンジにスポットが当たることで、表彰される活動を後押しするものとなるかどうかについても、議論を重ねました。

こうした議論を踏まえて、産直ドミノ基金®およびドミノ・ピザジャパン関係者からなる選考委員会での審査の結果、6 団体の活動が採択されました。」

採択された団体および活動名称は、下記の通りです。

私たちは、引き続き受賞された団体の活動を応援すると共に、応募してくださった全ての団体の今後の発展を願い、これからも、ニッポンの生産者の今と未来の応援につなげたいと考えております。

今後、受賞先の 6 団体の活動ご紹介を取材させていただき、ウェブサイト等に掲載し、ご報告させていただきます。

「産直ドミノ基金アワード 2023」受賞団体（6 団体）

授賞団体の団体名、活動名称、賞金額は以下の通り。概要は、事務局で編集し記述しております。

【農福連携・林福連携・水福連携の部】

NPO 法人どんぐりの会 就労継続支援 B 型事業所 リベルタ（三重県）

30 万円

活動の名称：新しい水福連携 ～障がい者が解決する水産業の未来～

概要：障がい者の自立と就労支援などを行う NPO 法人。障がい者の水産業への就労支援を行い、障がい者がやりたい仕事に従事できていないこと、水産業の後継者不足という 2 軸の問題解決に取り組む。カワハギ、伊勢海老、アワビの養殖に成功。回転寿司店への出荷実績もあり、水福連携の地域社会の仕組みづくりをすることで社会課題の解決に貢献。

【若手従事者の部】

中村学園大学 唐津 Q サバ FAN クラブ（佐賀県）

20 万円

活動の名称：全国に唐津 Q サバを広めたい

概要：「唐津 Q サバ」の販売促進に寄与している学生団体。養殖から水揚げ、加工までを調査し、唐津 Q サバの地域社会への影響や重要性について学ぶ。地元の漁業組合、水産業活性化支援センター、水産業者並びに九州大学と協

かし、「唐津 Q サババーガー」を販売。サバサミットでは 2 日間で 300 個が完売。唐津 Q サバの知名度向上と地域振興への貢献に尽力している。

【スマート農業・林業・漁業の部】

公益財団法人 ハイパーネットワーク社会研究所（大分県） 100 万円

活動の名称：農業DXへの挑戦 - AIディープラーニングによるいちごの品質判定-

概要：地元の高校生・学生が主体となり、大分県オリジナルいちご「ベリーツ」を生産し、AIを活用したスマート農業によって、品質判定に伴う課題解決に取り組む。判定精度は90%を達成し、技術支援者等と連携して実用化を目指す。アグリテック甲子園 2023 優秀賞受賞。12 月にパリで開催される OECD サミットにも登壇が決定。ベリーツの広報にも寄与。

【子どもと農業・林業・漁業の部】

NPO 法人 棚田 LOVERS（兵庫県） 50 万円

活動の名称：棚田で食育を～土に触れ、育て、収穫し、一緒に料理し、食べてなかよく優しく～

概要：未来の子どもたちへ美しい棚田をつないでいくために、食育体験を通じて、命や自然の大切さ、食の重要性を伝える活動を実施。棚田の自然体験は累計 250 回以上開催し、12,600 人以上の参加実績を誇る。活動の中で培った「棚田ノート」を活用し、棚田もこれまでに 15 枚再生。棚田の跡継ぎになりたいという子どもも生まれ、地域発展へ繋がった。

【地域と農業・林業・漁業の部】

やませみ（大分県） 50 万円

活動の名称：まえつえおやさいプロジェクト

概要：商業施設などを望む地元住民の声を受け、前津江町の活性化を目的としたコミュニティ食堂「憩いの杜やませみ」を運営する団体。現在はお茶会や朝市の開催や、高齢者の育てた野菜をJAに出荷。またプロジェクト内では野菜づくり講座や堆肥の作成、竹炭の作成をし、「環境にやさしい野菜」の特産化を推進している。

【CEO 特別賞】

青森県立名久井農業高等学校 野菜研究班（青森県） 100 万円

活動の名称：南部太ねぎの魅(美・味・実)力を守りたい！

概要：「課題研究」の授業の中で発足したグループ。絶滅の危機にあった「南部太ねぎ」を救い、食材の復活による地域活性化を目指す。「縦穴法」という新しい栽培方法を確立。現在は、栽培研究とともに普及活動にも力を入れており、文化祭やイベントなどで販売するほか、商品の PR、県外の直売会にも参加し、野菜のブランディングやプロモーション活動を実施している。

「産直ドミノ基金®端数寄付プログラム」のご案内

美味しいピザを食べて、ニッポンの農業の「今」と「未来」を応援しよう！

産直ドミノ基金®では、2023 年 5 月から、「産直ドミノ基金®端数寄付プログラム」を開始しました。どのピザを購入されても、ご注文総額を 100 円単位に切り上げた端数(差額)をお客様に任意で「産直ドミノ基金®」に寄付いただき、社会や環境問題の改善に取り組む生産者の活動を支援していただけます。

美味しいピザを食べて、ニッポンの農業の「今」と「未来」を応援してください！

「産直ドミノ基金®端数寄付プログラム」には、開始以来、1 月 31 日までに、10,454,358 円のご寄付をいただきました。心より感謝申し上げます。

<https://www.dominos.jp/sanchoku/charity>

※端数寄付プログラムはオンライン決済でご参加いただけます。

例



商品代金 ¥5140	¥60
クワトロ・チーズロール ¥4710	+ ポテトフライ ¥430
端数寄付 (¥100未満)	
お支払い金額 ¥5200	



■産直ドミノ基金®とは

ドミノ・ピザは、「ニッポンの生産者の今と未来を応援する」ことを目的に、社会や環境問題の改善をめざした具体的な活動をしている団体の方を助成するため、2022年4月に「産直ドミノ基金®」を設立しました。2022年に発売した『産直ドミノ・クワトロ』シリーズのお買い上げ1枚につき10円を積み立て、ニッポンの生産者の今と未来を応援するため、社会や環境問題の改善をめざした具体的な活動をしている団体の方を助成する公募助成を春季と秋季に実施。2022年度は農林支援8団体に、総額7,113,000円を助成いたしました。

2023年5月からは、お客様に任意でご注文の総額を100円単位で切り上げた端数をご寄付いただける「端数寄付プログラム」を開始。2023年度は、よりチャレンジを応援しやすくできるよう、「助成」から「アワード」に応援のスタイルを変更しました。

宅配ピザのパイオニア・国内売上 No.1

ドミノ・ピザは、日本で最初の宅配ピザチェーンとして、1985年9月30日にその歩みをスタートしました。以来、ピザデリバリー用バイク、ネット注文、ピザトラック、スマホアプリなど革新を続け、日本の宅配ピザ業界で売上・店舗数 No.1 として業界を牽引しています。2021年12月8日に全47都道府県への出店達成、2022年3月22日に900店舗、そして、2023年10月10日に1000店舗目の出店を達成しました。私たちが目指してきたのは、いつでもどこでもピザを囲むひとときを、もっと幸せにすること。そして、味も素材もとことんこだわって、とびきりおいしい1枚を真心こめてつくっています。

【クレジット表記、及び一般のお客様からのお問い合わせ先】

株式会社ドミノ・ピザ ジャパン カスタマーサポート <https://www.dominos.jp/feedback-form>